

事業シート（概要説明書）

事務事業名	高額医療機器整備補助事業	事業開始年度	平成元年度
根拠法令	無し	担当局・部名	子育て健康部
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	担当課・係名	健康推進課予防係
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	作成責任者	小笠原浩一
実施の背景	<p>更生病院は、昭和10年に安城町時代に開業し、昭和26年には市制施行前に公的医療機関に指定されるなど、まさに市民病院的な位置付けをされ、現在に至っております。また、八千代病院は、安城市の北部地域において更生病院を補完する病院として位置付けています。</p> <p>安城市の人口も18万人を超え、市民の健康を管理し、救急患者の救命を中心的に担っていただくための医療機器も精密で高度になったため、高額になっています。</p>		
目的 (何をどうしたいか)	<p>特に重篤救急患者の救命医療を担当する第3次救急医療施設である更生病院、緊急手術を要する救急患者の救命医療を担当する第2次救急医療病院である八千代病院が市内に置かれているので、重症な市民の救命のために必要な高度医療機器を整備し、両病院が担う救急医療に見合った機器の導入を支援することにより、安心して高度な医療を受けることができるようにします。</p>		
対象 (誰・何を対象に)	更生病院及び八千代病院の高額医療機器の購入	対象者数（全市民に対する割合）	該当なし 人（ % ）
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：構想日本）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔 <input type="checkbox"/> 直接・間接〕（補助先：安城更生病院 実施主体：安城更生病院）		
	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
事業内容 (手段、手法など市民にわかりやすく説明する) ※当該事業以下に中・小事業がある場合は、事業費とともに記載	<p>1 救急病院が求める高品質で信頼性のある高度な最新医療機器の購入費用の2分の1以内の補助をします。</p> <p>2 高額医療機器の必要性、妥当性、有効性を審査するため、病院施設整備等補助金審査委員会を設置しています。</p> <p>3 病院には機器に関する資料の提出と説明を求めています。</p> <p>① 同レベル救急病院の導入状況</p> <p>② 比較検討機種</p> <p>③ 性能比較</p> <p>③ 導入効果</p> <p>更新機器については、</p> <p>④ 現行使用機器の利用状況</p> <p>⑤ 更新の必要性など。</p> <p>4 審査委員会には、専門の見地から機器に対する機能及び必要性に関して助言を求めため、医師である保健所長にも加わっていただいています。</p> <p>5 補助金は、機器購入の翌年度から交付します。</p> <p>6 平成23年度の補助対象としては、更生病院に導入した次の2機器です。</p> <p>① CT（コンピュータ断層撮影）平成21年度更新 購入金額96,600千円 平成22年度及び23年度の各年度に24,150千円を補助</p> <p>② 心血管撮影装置 平成21年度更新 購入金額187,200千円 平成22年度から24年度までの各年度に31,200千円を補助</p>		
関連事業 (同一目的事業等)	<p>救急医療補助事業 病院移転新築補助事業 病院移転新築事業利子補給事業</p>		

事業シート（概要説明書）

事務事業名		高額医療機器整備補助事業				事業開始年度		平成元年度	
		24年度（予算）		23年度（決算）		22年度（決算）		21年度（決算）	
コスト	事業費合計	106,815 千円		55,877 千円		101,552 千円		84,527 千円	
	事業費内訳 (平成23年度分)	補助金 ① CT（コンピュータ断層撮影） 24,150千円 ② 心血管撮影撮影装置 31,200千円							
	人件費	0.07 人	527 千円	0.07 人	527 千円	0.07 人	527 千円	0.07 人	527 千円
	総事業費	107,342 千円		56,404 千円		102,079 千円		85,054 千円	
財源 内訳	国県支出金	千円		千円		千円		千円	
		国県支出金の内容							
	地方債	千円		千円		千円		千円	
	その他特財	千円		千円		千円		千円	
		その他特財の内容							
	一般財源	107,342 千円		56,404 千円		102,079 千円		85,054 千円	
	財源合計	107,342 千円		56,404 千円		102,079 千円		85,054 千円	
事業 実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H23年度	H22年度	H21年度	
		支給件数			件	2	3	1	
	単位当たりコスト	総事業費	／	支給件数	円	28,202,000	34,026,333	85,054,000	
		／		／					
事業 成果	成果目標 (指標設定理由等)	高額な医療機器のため、有効に利用されているか利用の増加を目標とします。							
	成果指標	【成果指標名】			単位	H23年度	H22年度	H21年度	
		画像検査件数			件	308,414	306,206	298,589	
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	更生病院及び八千代病院は、安城市内にあることによって、市民が、市内で最新の医療行為を受けることができるため、救急患者を短時間で搬送できる、患者の家族の見守り・付添の負担感が軽減される、高度な専門医師が勤務していることから医療に対する安心感が高まるなど、経済的にも精神的にも大きく貢献しています。今後も市民の安全安心のために継続したいと考えています。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	刈谷市には刈谷豊田総合病院があり、安城市と同様に市民病院を持っていません。そのため、刈谷市においても、高度医療の確保及び医療業務の迅速化を図るため設備の拡充を行うもの及び情報システムの導入に要した経費に対して、補助しています。 西尾市では、市民病院事業を円滑に運営するため、平成22年度は約14億5千万円を普通会計から繰り入れていました。								
特記事項 (事業の沿革等)									